

高浜小学校・三村小学校・関川小学校・南小学校統合再編に係る説明会 要旨

日時 令和2年8月25日(火) 午後7時から午後8時15分

場所 城南地区公民館 大講堂

執行部 児島教育長, 豊崎部長, 吉澤次長, 倉本参事, 小沼教育総務課長, 小河原副参事,  
海東係長, 佐藤主事

出席者 42名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明

資料

- 「高浜小学校・三村小学校・関川小学校・  
南小学校統合校基本計画(案)
- 「高浜小学校・三村小学校・関川小学校・  
南小学校統合検討委員会スケジュールの例」

5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

高浜駅前辺りだと、スクールバスは出ますか？

(事務局)

現時点で詳細の部分はお伝え出来ませんが、石岡中学校への統合の例を参考にすると、駅前にもバス停は設けているので、そちらを基軸としながら検討を進めてまいりたいと思います。

(参加者)

関川地区で、一番遠いところだと 10km ぐらい小学校までである。地区によって通学の時間差があり、子供の負担って言うのはどう考えているのか？朝ご飯を必ず食べて行かせたい。でも、朝早く起きてすぐご飯が食べられる子もいれば、すぐには食べられない子もいる。その生活リズムが出来るまでって言うのが、すごく難しい。50分掛かる。バス停に行くまでも時間が掛かる。それを考えると、1時間は早く出なきゃいけない。そうなった時に、子供の負担が大きい。その点について、どう考えているのか教えて下さい。

(事務局)

通学時間による負担の部分について、検討委員会の中で検討。通学に1時間。ご家庭の協力もいただきながらと言う部分になってくるかなと言うのが、正直なところ。

(参加者)

統合によって南小学校の名前が変わる可能性はあるのでしょうか？

(事務局)

名称等についても、検討委員会の中で早い段階で検討の材料の一つとして取り上げる予定でございます。

(参加者)

もし現在の小学校で体操服等を購入した後に統合となった場合、どうなるのか？

(事務局)

早い段階で検討委員会の中で方向性を示し、案内を進めていきたい。八郷中学校の例では、早い段階からサンプリングを提示し、アンケート等を取りながら進めていった。

(参加者)

体操服に関してだけでなく、案を示していただいて、アンケートを取ってと言う様に、保護者の意見をきちんと反映させていただきたい。決定事項を投げられるだけでは保護者は納得いきませんので。その点、細かい事に関しても市側が理解して実行していただきたいと言う思いです。

(事務局)

ご指摘の通り、皆さんで学校を作り上げていくと言う思いを強く持っています。一つ一つの事項について、皆様のアンケート全部詳細に取れるとまでは限りませんが、重要な事項につきましては、皆様のご意見をどんどん聞いていく場面を設けていきたいと思っております。

(参加者)

南小学校の周辺には、駐車場がほとんど無く、運動会などの際には不便なイメージがある。その辺はどの様に考えていますか？

(事務局)

現時点の南小学校の対応としては、運動会に車でいらっしやっただく事はお断りしている状況だと聞いています。ただ、もちろん学区が広がりますので、駐車場が必要になるという部分は、こちらも認識しております。石岡中学校が統合では、市役所の駐車場にお停めいただいています。南小につきましても、周辺の市の施設と言えば、市の運動公園等になるので、そちらとも連携を図りながら、対応出来る様にしていきたいと思っております。

(参加者)

城南中学校と石岡中学校の統合の時の反省として、こう言った対面での説明会は当時も何回かあったが、その場で意見が出せる人とそうでない人がいる。そう言った方の意見を、どう反映させるが非常に難しかった記憶がある。

こう言う対面ではなくて、例えば参加していただいた、高浜、三村、関川、南のそれぞれの保護者の方と、それぞれの先生方や市の教育委員会の方々と、例えば5・6人のグループを作ってざっくばらんな意見交換をすとか、そう言った場を統合の初期の段階で設けていただきたいと思う。私が担当していた時に、今回の統合される4校と、城南中学校の5校での懇談会を企画し、それぞれの小学校・中学校の先生方も含めて意見交換をした。学校現場からの意見と、登下校の問題とか、どう言う形で折衷案として設けていけば良いのかと言うのを、一生懸命皆さんで話し合ったと言うのを一回だけやった事があった。検討委員会が設けられると、決められた人しか入らなくなる。グループワークやフリーディスカッション

が出来る様な場と言うのを数多く設置して、その中でお互いの意見を出し合わなければ、今回の最後のページにある、保護者や地域の理解と協力を得て行うと言う、統合は出来ないと思う。ぜひ、多くの方の意見が取り寄せられる様な、そういった仕組みを構築していただき、開校の時に皆が喜べる、地域が喜べる学校づくりをお願いしたい。

(事務局)

皆様と協力し合いながら意見を交換しあって、良いものを作り上げていくと言う形を取っていかないと、良いものは決して出来ないと思っております。色々な方々のご意見、ご要望と言うものを取り入れながら、出来る事はきちんとやった上で、統合を目指して行きたいと思っております。

(参加者)

先ほどのお話に対する返事が、前回の説明会での返事と、全く一緒。学校が令和5年度には閉校して令和6年度には無くなるが、対応が遅すぎると思う。前回同じ様な意見が出ていたので、次に行う時には、この意見が何かしら反映される形でないと、時間はもう無いと思う。

統合において、コロナウイルス感染症への対応はどう考えているのか？この統合案には明記されていなかった。

(事務局)

通り一辺の様な回答になってしまった点、大変申し訳ございません。検討委員会を立ち上げた段階で、皆様の意見を聞く様な場を設けながら、進めて行きたいと思っております。その点について説明が至らず、申し訳ございませんでした。

(参事)

学校の方の規模が大きくなる中で、児童の安心・安全をやはり最優先していきながら、県・国等に指針に従って、色々な学校の中での防止策等を現状としては考えております。

(副参事)

施設の整備の部分について、ご説明させていただきます。コロナウイルス感染症対策として、今月の20日に各学校の体育館。それから中学校は武道館に冷風扇を導入してございます。来月中には、生徒児童一人一人の机に飛沫感染予防の防止ガードを付ける予定になっております。また、扇風機や蛇口の部分のレバー化であるとか、そういったもので努力している部分もございます。

(参加者)

今回初めて参加したが、統合のデメリットは何なのか？

(事務局)

統合における基本的な考え方として、適正規模に則した統合をしていくとなると、デメリットといたしましては、当然通学距離が長くなっていくと言う部分。こちらが一番でございます。

つづきまして、地区毎に学校を中心としたコミュニティが形成されていますが、こちらが希薄になりがちだと言う、ご意見をいただいているところでございます。地区と新しい学校を上手く繋いでいける様な仕組みを模索しながら、デメリットの解消をなるべく進めていきながら、今回の統合校を作っていきたいと思っております。

(参加者)

学校の位置が南小なので南小と言う名称にするのか。それとも、4校統合して新しい学校を創設するのか、現段階での市としての意見を伺いたい。

(事務局)

現時点では、市の私有財産を見ていった際に、適切な校舎規模を持っているのが南小と言う事で、場所については南小で検討しております。統合検討委員会の中で、時期・場所を明確にした上で、校名・校旗・校章そういったものも、決定していく事となっていくかと思えます。現時点では、南小で決定と言う訳ではないと言う事で、お伝えさせていただきます。

(参加者)

教育長、また部長や上の方々にはお願いですが、教育委員会として真摯に説明していただいている事は本当にありがたく思っている。石岡市全体で大きなプロジェクトを組むような思いで、市長や各部長。そう言う方々との情報交換を密にする事が、より良い新しい学校が出来ると一つの鍵と思っている。その辺りの石岡市としての思いと言う部分をぜひ聞かせていただきたい。

(部長)

適正配置・統合再編と言う事で、教育委員会が主になって動いているところでございますが、市全体としても公共施設の在り方と言うのが、検討されております。

統合後に使われなくなった学校。これをどうしていくのかと言う事が、一番の課題だと思っております。これは、教育委員会だけでは検討出来ないと言う様に考えていますので、市全体で考えていく様な組織を立ち上げる。本来は専門の部署があれば良いが、なかなか人員配置も難しい。市で個別施設計画をそれぞれ立てていますが、今後無くなるであろうと言う施

設もでございます。それも含めて、市全体で考えていきたいという様に思っております。

また、先ほども言った様に現在の南小。大規模改修と言う事で費用が掛かります。大きな政策の判断になりますので、教育委員会だけの問題ではないという意識で、取り組んでいきたいと思っております。

(教育長)

将来を担っていく子供たちを、石岡市総掛かりで育んで行かなければならないという様に考えております。教育委員会が主導を持ちながらやりますけども、やはり、市長主導のもと、しっかりとした方向性を見据え、子供たちの将来がきちんとお約束出来る様な、学校づくりを進めていく。皆様から合意形成を得ながら、皆様と協議を重ねながら、全市を挙げて学校再編について取り組んでまいりたいと考えております。

(参加者)

他の市内の小学校中学校の統合も含めた上で、どんなビジョンで計画するのか。

跡地の活用は色々難しいと言う事だが、実際に市内で統合した後の実例などを具体的に伺いたい。

(事務局)

他市の実例について、かすみがうら市、小美玉市でも、学校の統合が進んできております。昨年度、小美玉市では小川の南小学校が統合して、以前の小川南中学校があったところに来ております。小川南中学校は、近くにあった小川高校の跡地に移転。他にも玉里の義務教育学校。小川北にも義務教育学校をと言った流れで動いております。

かすみがうら市さんは、かすみがうら中学校をまずつくりました。北中学校と南中学校を統合し、同じエリアの小学校を統合して北小学校と南小学校をつくり、系統的な教育を目指して進めている。現在は、千代田に義務教育学校を。千代田中学校のすぐ脇に、小学校が入れる様な建物を作り、今進めているところでございます。こちらについても、小中一貫で考えている形です。

石岡市においても、ひとつの中学校区単位では、色々連携は図っているところではあります。統合再編を進めていく事により、小・小もしくは小・中の連携を深めながら、進めていければと思っております。また、その中でも小・中と言う部分での考え方につきましては、改めて示していく場面と言うのは出て来ようかと思っております。

跡地の活用例について。石岡市内では、朝日里山学校。旧朝日小学校。こちらが、現時点では活用例として挙げられます。他にも、有明中学校は、体育館やグラウンドを市民の方々へ貸出し。旧城南中学校も、同様に市民の方々やシルバー人材センターへの一部貸出し。

あくまでも、暫定的な利用になっておりますが、今後、明確な方針を決めながら、市全体の考えとして取りまとめたいと思っております。